

松支図書館だより 12月号

平成27年12月1日

熊本県立松橋支援学校図書館発行

師走。年末の忙しさに法師が走り回るからという説がよく知られていますが、「師走」は、後世の当て字で、仕事を終える「為果つ」、一年が終わる「年果つ」が変化したという説が有力です。さて11月までは、暖冬気味に過ごしてきましたが、これからが、冬本番。まずは一人一人が手洗いやうがいを実行して自分自身の体調管理に気をつけましょう。

また児童生徒のみなさん2015年はどんな年でしたか？羊から申年が変わります。新しい年に向けて生活面、学習面で未来に向け、夢にむかって羽ばたいてほしいものです。

《文化委員会の活動の様子》

11月13日(金)5限目に高等部文化委員会がありました。9日から始まった「秋の読書週間」に向けポスター作りや横断幕づくり、しおりづくりと班別で取りくみました。どの班も、生徒たちの楽しそうに一生懸命取りくむ姿が見られ成長のあとが窺えました。ポスターは学校内の各学部廊下に貼って、横断幕は体育館前の掲示版、もう一枚は、小、中学部昇降口に貼りました。



☆☆☆秋の読書週間(11月9日～20日)多読者発表☆☆☆☆

	冊数	所属	名前
1位	12冊	小学部 3年	※ 名前は削除しています
1位	12冊	〃	〃
2位	11冊	小学部 2年	〃
2位	11冊	中学部 2年	〃
3位	10冊	小学部 5年	〃
3位	10冊	中学部 1年	〃

※読書週間の結果はこのようになりました！！

◆◆◆◆下の場所はどこでしょう？みなさんわかりますか？◆◆◆◆



答は・・・図書館前廊下の「しんぶんピックアップ」コーナーです！みなさんは毎日の生活の中で新聞を読んでいますか？新聞にはさまざまな記事が掲載されています。例えばテレビやラジオ番組、料理、育児、世界の中のいろいろな出来事、熊本(郷土)のこと、スポーツ等たくさんの方が書かれています。図書館では、その中から身近な話題を、コピーして貼っています。お薦めは「おれすけおすすめ」です。この記事には難しい漢字にルビがついています。

☆☆☆ リレーエッセイNO45 ☆☆☆

「漫画のススメ」

先生は、小さい頃から本が大好きで寝る前には必ず本を読んで寝る子どもでした。それは大人になった今でも変わらず、リビングやダイニング、寝室やトイレなど、少しでも時間があればどこでも本を読みます。3年ほど前に家を建てたのですが、その時も、先生のオーダーはたった一つ。いつでも本を読めるようにトイレも含め全ての部屋に本棚を設置することでした。(本をそこら中に散らかしてしまうことから、奥さんもしぶしぶその対応策として認めてくれました(^_^;))

そんな先生が皆さんにお勧めする本は、海賊王を目指す主人公ルフィーが、仲間と出会い、共に冒険し成長していく姿を描いた「ワンピース」という漫画です。

ワンピースには一人一人、能力も性格も異なるたくさんのキャラクターが登場します。先生は、その中のルフィーの仲間の一人、ウソップが大好きです。ウソップは、ルフィーや他の仲間達とは違いとても力が弱く、嘘や軽口ばかりをついて何の取り柄もありません。しかし、仲間のことを誰よりも思い、仲間が危機に陥ると勇気を振り絞り、自分のできることで懸命に仲間達のために頑張ります。先生もウソップのように、“人を思いやる気持ち”や”本当の勇気”のある人間に成長したいと思っています。

「えーっ。先生なのにお勧めの本が漫画なの？」そう思った人もいるでしょう。確かに、「漫画ばかり見ないで、少しは本を読みなさい」と言う大人もいますよね。

実際、先生自身も高校生ぐらいまでは、「漫画は幼稚なもの」と決めつけ、太宰治や安部公房など、人間の本質を書いた「文学小説」を古本屋で購入し読みあさっていました。今思い返すと、背伸びして、他の高校生とは違う高尚なことをしている自分に、自分の存在意義を見いだそうとしていたところが少なからずあったんだろうと思います。

いろいろなことを経験し、大人になった今改めて思うことは、自分が成長していくためには、背伸びをすることではなく、今の自分の能力や性格をしっかりと見つめ、認めること。そしてこれから成長していくために、今の自分に何が必要なのかを学んでいくことだと感じています。そして、本は、文学書や漫画といったジャンルを問わず、人として成長していくために必要なことを気付かせ、教えてくれるものだと思います。

「こんな本読んだって意味がない!」「私には難しそうだから読めっこない!」と覚めることもあるでしょう。それでも、何はともあれ、本を手にとり、最初の10ページだけでも読んで、おもしろかったら読み続け、おもしろくなかったら読むのをやめるというのを繰り返しやってみてください。その中には、今の君たちに足りないこと必要なことを教えてくれたり、君たちの考え方や生き方を広げてくれたりするお気に入りの1冊ときっと出会うでしょう。肩肘を張る必要はありません。どんな本でも良いのです、とにかく本を手にとること。それが、君たちが君たちらしく、すばらしい人生を送ることにつながります。

君たちが、今すぐに本に出会える場所はきっと学校の図書館でしょう。本校の図書館は熊本県内特別支援学校でもっとも蔵書の多い図書館です。ぜひ足を運んでみてお気に入りの一冊を見つけてください。

